

災害保健医療支援室の活動から見た 救援期の支援ニーズの推移

佐藤 健（災害制御研究センター地域減災実践学分野）
上原鳴夫（医学系研究科国際保健学分野）

災害保健医療支援室の概要(1)

■ 活動拠点

- 3月23日(水)午前まで, 宮城県保健福祉部医療整備課内
- 3月23日(水)午後から, 宮城県庁舎16階1601会議室
- 5月22日(日)午後から, 東北大学国際保健学教室

■ スタッフ

- 上原 鳴夫(東北大学医学系研究科)
- 國井 修(日本ユニセフ協会ソマリア事務所)
- 長谷川 泰三(大阪府済生会千里病院)
- 田中秀治(国土舘大学)
- 佐藤 健(東北大学災害制御研究センター)

多数のボランティアスタッフはウェブページに掲載

<http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/wiki/index.php>





災害保健医療支援室の概要(2)

- 支援対象

- 宮城県保健福祉部，保健所(支所)，市町村保健福祉部局，地域包括支援センター，病院，拠点避難所等

- 主な支援活動

- 人の派遣

- 保健所等が実施するサーベイランス，各種調査のための調査補助員の派遣，調査データの入力作業支援

- 市町のニーズに応じて何でもやる「何でもやります隊」の派遣

- 物資供給

- 現地からの（主に物資）要請情報の収集・集約・整理・共有化

- オフアワー情報の収集・集約・整理・共有化

- 災害医療・保健管理に関する包括的な現地情報の発信，共有化

- 情報共有

- ホームページの開設とメーリングリストの構築

- インターネット通信が可能な**3G**モデムとノート**PC**の現地持込とセットアップ（支援団体とIT系ボランティアの協力）



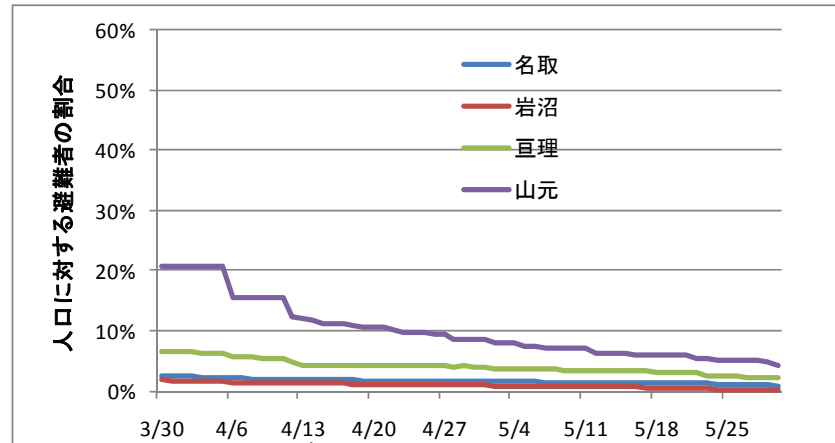
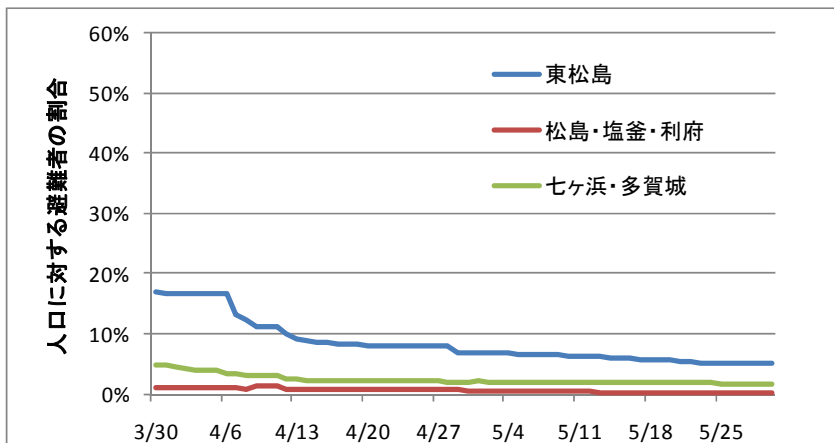
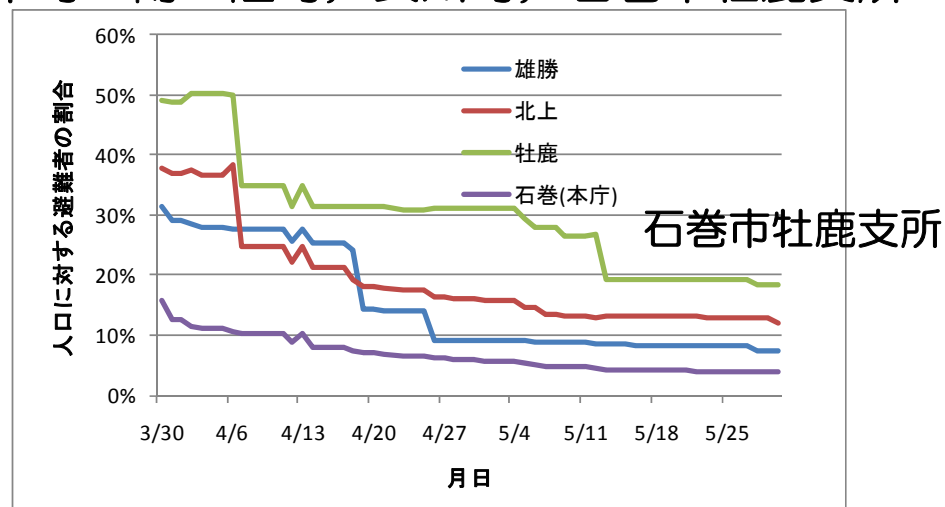
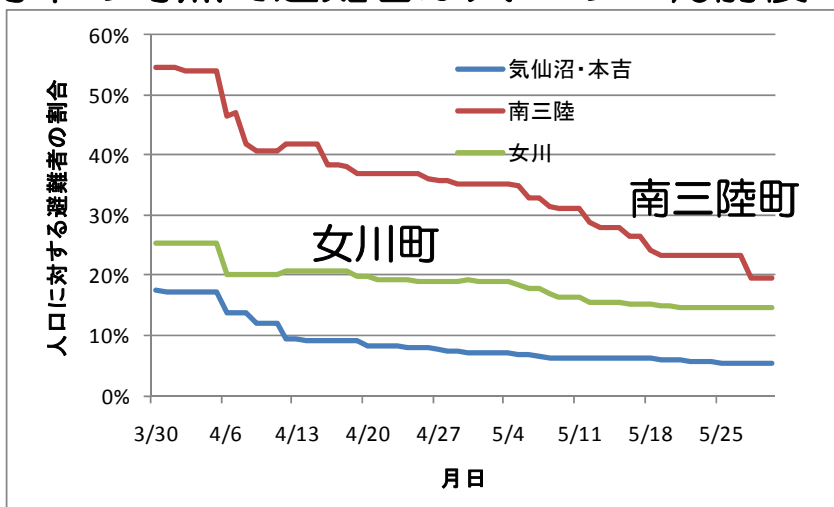
災害保健医療支援室の概要(3)

- 同報メール(誰でも送信可, 登録者のみ受信)
 - 医療救護班から宮城県災害対策本部への現地情報
iryokyugo@dcrc.tohoku.ac.jp
メンバー数: 93, メール通数: 300 (6/9現在)
 - 被災者支援に役立つ支援情報
medsupteam@dcrc.tohoku.ac.jp
メンバー数: 190, メール通数: 380 (6/9現在)
- 地域別メーリングリスト(登録者のみ送受信)
 - 気仙沼・本吉
 - 南三陸
 - 女川
 - 雄勝・北上・牡鹿
 - 旧石巻
 - 東松島
 - 松島・塩釜・利府・七ヶ浜・多賀城
 - 名取・岩沼・亘理・山元

3月26日から運用開始

人口に対する避難者数の割合の推移 (3/30から5/30の2か月間)

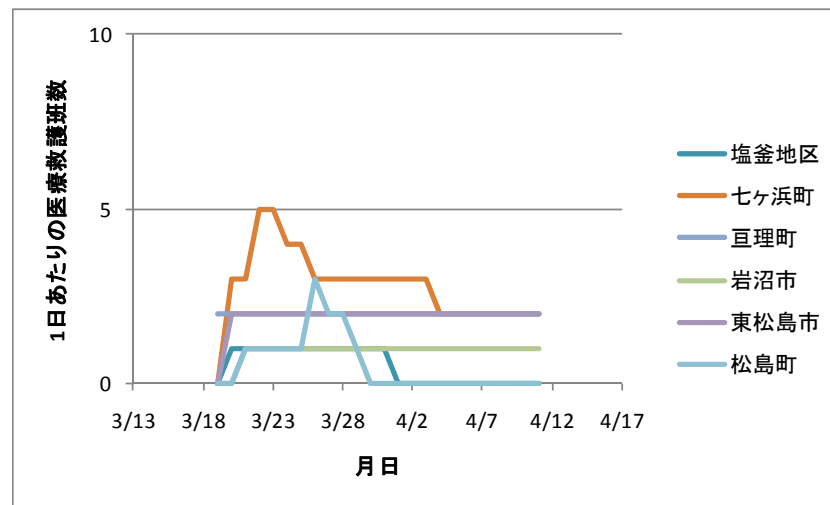
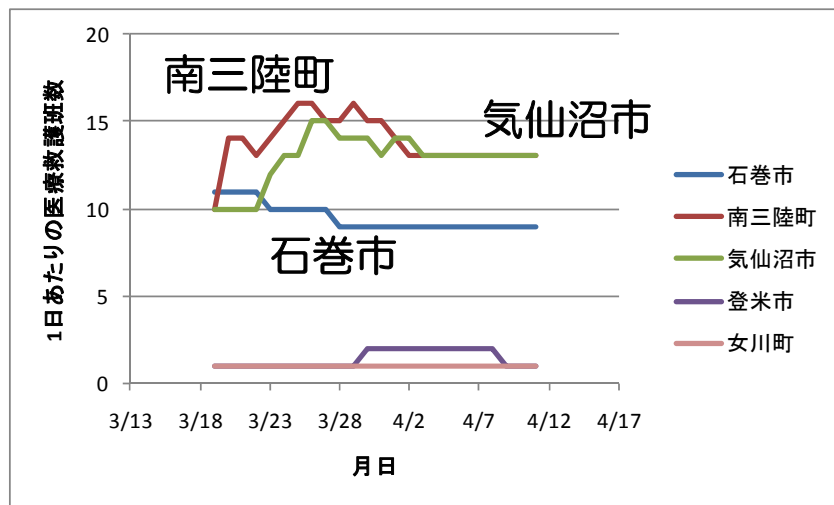
5月末の時点で避難者が人口の20%前後の市町：南三陸町、女川町、石巻市牡鹿支所



仮設住宅への入居など、状況は日々変化しているが、地域間格差の存在
(避難所が閉鎖された市町がある一方で、いまだ3,000人の避難者がいる市町も)⁵

宮城県内の医療救護班の推移

提供：宮城県保健福祉部医療整備課



- **4/11時点（地震から1か月後）**
 - 合計**101**チーム
 - 都道府県:**60**，大学関係:**10**，日赤:**6**，**JMAT:25**
- **6/6時点（地震から3カ月後）**
 - 合計**26**チーム（気仙沼市:**8**，石巻市:**14**，東松島市:**2**，登米市:**2**）
 - **4市町のみ**。上記以外の市町への医療救護班の派遣は終了した。

保健医療に関するニーズの把握 地域別の意見交換会

- 宮城県が主催，災害保健医療支援室スタッフも参加
 - 塩釜地域：4月4日(月)14:00～
 - 南三陸地域：4月5日(火)10:00～
 - 気仙沼地域：4月5日(火)14:30～
 - 石巻地域：4月7日(木)
 - 名取・岩沼・亘理・山元地域：4月27日(水)13:00～



南三陸地域の意見交換会

携帯電話
パソコン
3Gモデム

自動車
バイク

コピー機
検査機器

人の派遣

	希望機種・性能 (もしあれば)	数
1. 通信・情報関係		
(1) 衛星電話(携帯がつかないところでの通信に使用)		
(2) 携帯電話(ドコモ、ソフトバンク、au)	グローバル型	3
(3) インターネットアクセス(WiFi ルーター または3Gモデム付きパソコン)	3Gモデムタイプ2	2
(4) パソコン		6
(5) その他		
2. 移動関係		
(1) 自転車・原付 または 電動自転車	原付(ヘルメット含む)スクーター	1
(2) 車	軽2, コンパクトタイプ1, ミニバン2	5
3. 機器・機材		
(1) コピー機		2
(2) FAX機、スキャナー、プリンター	複合機2, カラープリンター1	3
(3) 検査機器	乳幼児の身長計・体重計	2
(4) その他の機器・機材		
4. 人の派遣		
補充要員 (例:保健師職、事務職等)	保健師5(5月以降), 事務職1	6
業務補佐要員 (例:データ入力要員、調査補佐要員、避難所管理・調理要員等)	データ3, 管理1, 調理3	7
情報・IT要員 (ネット管理、メール管理、データ入力・集計など)		
アドバイザー(助言・指導-例:栄養評価と対策、避難所調査、要介護者対策等)など	アドバイザー	3
避難所ボランティア、介護者、ケアマネジャーなど	介護2, ケアマネジャー2	4
その他	マスク(N95), ゴーグル	各1000

『御用聞き』
シート

沿岸部市町村
保健福祉部局
からの
要請書の例
(4/9受領)

何でもやります隊の派遣（南三陸町）

- 市町(保健福祉部局)のニーズに応じて何でもやる「何でもやります隊」
- 派遣避難所
 - ベイサイドアリーナ
 - 旭ヶ丘コミュニティセンター
 - 馬場中山
 - ハイムメアーズ
 - ホテル観洋
 - 歌津中学校
 - 泊崎荘
- これまでの派遣人数
 - 延べ約**50名**(全員ボランティア)



出発前のオリエンテーション風景



バスでの出発風景



現地での引き継ぎ風景



第5次隊の帰任時集合写真



保健医療に関するニーズの変遷

■ 地震～1か月後

- 災害時要援護者把握，避難所衛生環境調査のための人的支援
- 重油塵埃による急性肺炎，インフルエンザ，ノロウィルス予防のためのアルコール消毒，マスク【感染症対策】
- エコノミークラス症候群の予防

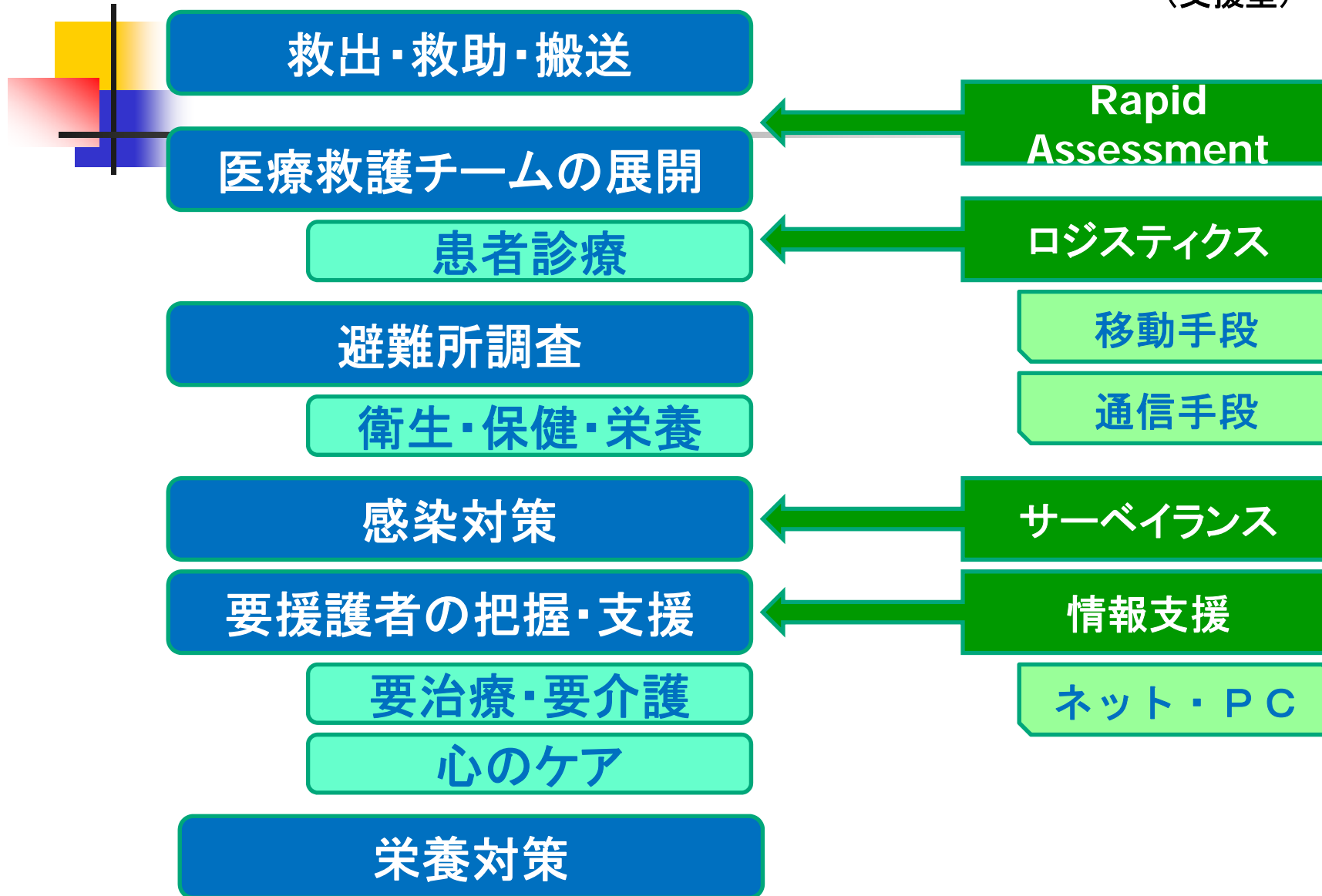
■ 1か月～2か月後

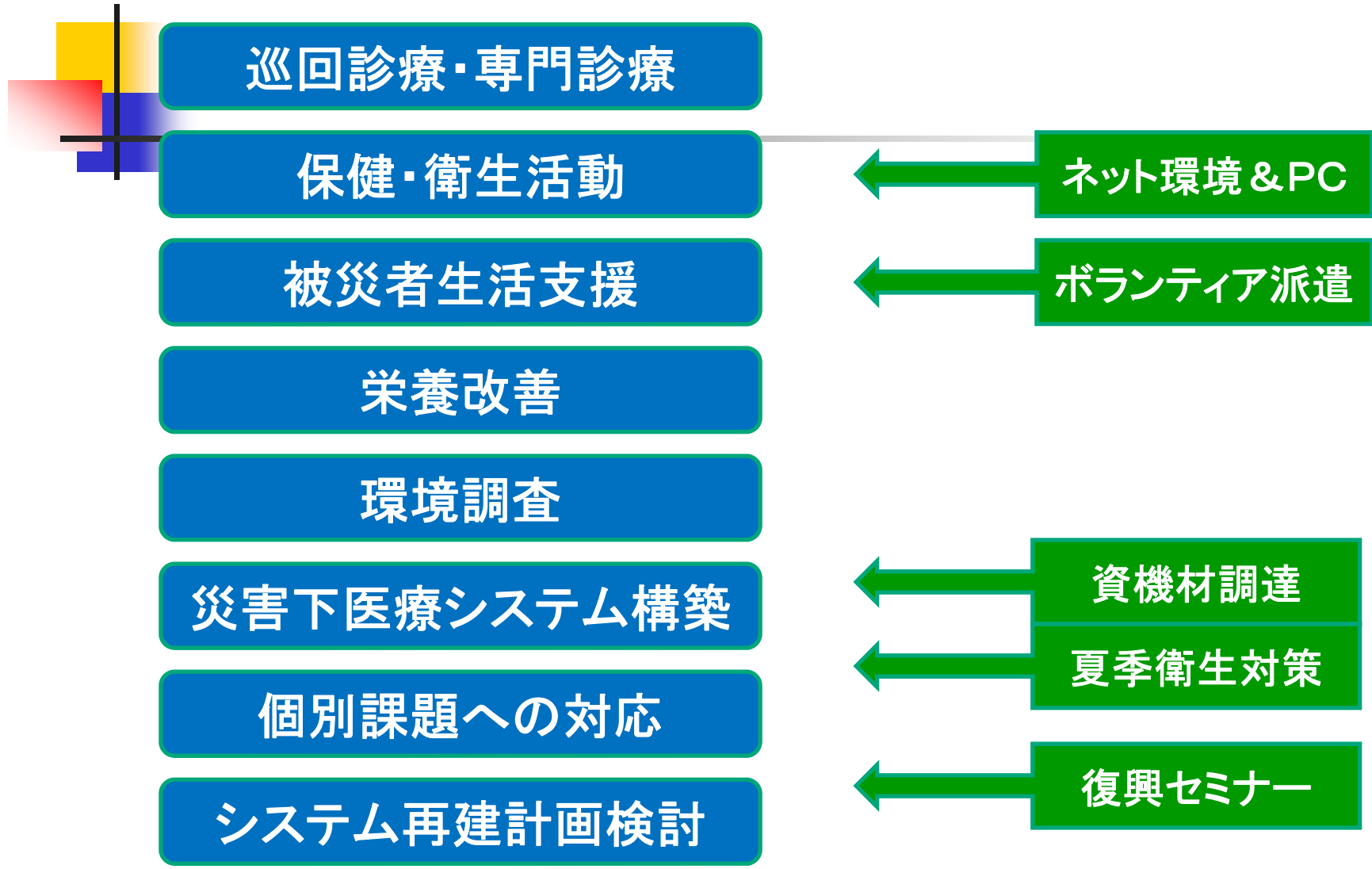
- 避難所：流水手洗いのためのウォータータンク，トイレの衛生環境の改善，（女性）更衣室，下着類の支援など
- 行政：行政職員の移動手段としての車輛，インターネット接続できるPCなど
- 病院(復旧，仮設診療所)：医療機器，検査機材，ベッドなど

■ 2ヶ月～3カ月後

- 避難所の清掃，服・下着類の洗濯
- 布団，毛布類のクリーニング
- 生活不活発病の予防

(支援室)







夏季対策の早急な実施を

1. 夏季対策一

- 寝具の交換（発災以来3カ月）
- 塵埃・換気、清掃、洗濯、防虫・駆虫
- 食材・炊事の衛生管理、トイレの衛生管理
- 高温・高湿対策（熱中症・脱水）
 - ▶ ・合同大掃除プロジェクト(南三陸)
 - ・ダニバスターズ(石巻)
 - ◆ 週末大掃除ボランティア
 - ◆ 資機材支援（ふとん、掃除機等）

2. 乳幼児健診一離散住民への連絡・周知

TV／新聞での周知にご協力をお願いします

3. 災害下医療システムの可視化とシステム再建計画



“備えがないことはできない”

全ての自治体は

いますぐ災害マニュアルの見直しを！

- 具体的・実用的な指針とインスツルメントの整備、訓練
- 自治体間のペアリング(または三角協定)
- 緊急ファンド
- 災害時のコマンド・システム
- 外部リソースを効果的に活用する態勢・制度
- ロジスティクス(移動手段、通信手段、ネット環境)
- 情報管理計画、情報・データの標準化